

地域の中の学校へ！さらなる1歩を ～第1回 学校運営協議会報告～

コミュニティスクールが2年目に入り、5月12日に第1回目の学校運営協議会が開催されました。今年度新たに委員になった方々に任命書を交付し、会長・副会長を選出しました。その後、学校経営方針についての承認を得、今年度の活動について話し合いが持たれました。

<各部会の活動について>

<広報・評価部会> 代表 後藤英明委員

- 1 コミュニティスクールに対する地域住民の理解と意識を高めるため、学校ホームページを多くの方々に見てもらうための広報活動が必要である。
- 2 陵東新聞に各部会の活動計画や活動内容を随時掲載し情報を発信する。
- 3 コミュニティスクールの掲示板を活用し、学区の小学校、地域の活動の様子や情報を生徒へ伝え関心を高める。
- 4 中学3年生が取り組む「街づくりプロジェクト」に関し、協力支援を行う予定。



<学習支援部会> 代表 武田幸一委員

- 1 子供たちの学力を向上させるための支援として、木曜塾を開催する。
- 2 子供たちへの様々な学習支援を行いたい。
- 3 地域の方をゲストティーチャーとして招き、子供たちの資質・能力を養う。
(書初めの指導・支援など)

以上の活動を円滑にするため地域の人材を発掘する。

<総合学習支援部会> 代表 柏倉城太郎委員

- 1 「未来の担い手育成プログラム」について
 - ・2年生の課題解決プロジェクトに関して、寒河江市ロータリークラブ・市商工会青年部等の協力支援をお願いする
 - ・3年の街づくりプロジェクトについては、市の担当者に依頼する。
- 2 「キャリア教育」について
 - ・1年生の職業講話について市商工会との連携を密にする。
 - ・2年生職場体験学習については、職種を考慮して実施可能ではないか。計画して状況により判断する方向で進めてはどうか。
- 3 中高連携の取り組みとして、高校生との授業交流、工業体験なども考えられる。

<地域活動部会> 代表 安達 正博委員

- 1 昨年度までの活動
校外班会の班長とともに、地域の中で中学生がしたいこと、できることを考え実践した。

具体的には、地域の祭りの前の清掃活動や地域の祭りへの参加。

2 地域の活動と通学生との関わりの現状

- 地域の運動会は、子ども育成会メンバーとして中学生まで入っているのだが、小学生までの活動になってしまっているところがある。
- 中学生は部活動があるということで参加が困難なようである。
- 他地区の子が参加することはできないか？
→地域を越えて子どもたちが集まって活動してくれるのはありがたい。

3 中学生の積極的な参加のために必要なこと

○中学生が参加したくなるような仕組みをつくり、中学生が納得して参加できるようにすることが必要である。



<令和3年度 陵東中学校学校運営協議会委員（敬称略）>

NO	氏名	
1	柏倉城太郎	副会長・PTA会長
2	芳賀 諭	PTA副会長
3	後藤 英明	PTA参与
4	菊地 若奈	母親委員長
5	鏡 はるみ	母親委員会副委員長
6	瀬野 義昭	寒河江地区町会長代表
7	安達 正司	西根地区町会長代表
8	安達 正博	三泉地区町会長代表
9	小山三枝子	主任児童委員（西根地区）

10	土田 久子	主任児童委員（三泉地区）
11	鶴谷 照美	寒河江地区民生児童委員
12	鏡 芳昭	企業経営者
13	武田 幸一	会長・元小学校長
14	渡邊 晃	寒河江工業高等学校長
15	東海林至之	地域コーディネーター
16	横山 和弘	陵東中学校 校長
17	村山 理香	陵東中学校 教頭